

晴耕雨読 60

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
補償コンサルタント登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol.60 JAN 2021 seikouudoku

みなさま如何お過ごしでしょうか？コロナ禍の中で「人とのつながり」「相手への思いやり」の大切さに目を向ける年にしたいと思います。

心
技
体



全集中
焚火の形



焚火には不思議な魅力を感じる。パチパチと薪がなり、揺らめく炎を見ているだけで何となく、心が落ち着く…。 H/N

晴耕雨読を平成 16 年に発行して、今回で 60 回目の節目を迎えました。これまで長く続いたのも、全社員の協力のおかげです!! 今年も一歩一歩確実にがまします! H/N

身近な環境への思い (食べる・歩く・楽しむ)

Human Architectur

恒例の門松づくり

今年も、昨年に続き笑福祈願の門松を作り、我が家に年神様をお迎えいたしました。竹が笑顔に見えてますか？昨年より少し飾り豪華。年神さんたくさんいらっしゃい！年寄りと持病持ちはステ〜イホ〜〜ムでした。はやく疫病退散し〜せいで。 A/T

新阿蘇大橋開通間近!!



本橋は PC3径間連続ラーメン箱桁橋となっており、橋長は 345m、旧橋より 140mほど長くなっています。長陽大橋から次第に伸びていく様子を毎日見ていたので、繋がった姿を見たときは感動しました。多くの方が力を合わせ、地図に載るような大きな構造物を造れることも土木の魅力の一つだと改めて感じました。 T/K

木の華



道路標識の復習

道路附属物点検業務を実施する中で、久しぶりに道路標識を真面目に復習してみました。日本の道路標識は、案内標識・警戒標識・規制標識・指示標識・補助標識の 5 種類です。よく似ており間違いやすい標識がいろいろあります。下の標識の違いがすぐわかりますか。標識のデザインは国際条約で決まっていますが、各国の伝統に従って少しずつ違っているようです。 N/S



年末、天草市の崎津漁港の物揚場で末口 50cm、長さ約 15m の表皮が剥がれた珍しく変わった姿の木材を発見。地元の漁師さんの話によると、令和 2 年 7 月発生した球磨地方等の大洪水により流出したと思われる流木で、球磨川や八代海等を経て約 6 ヶ月後、羊角湾を漂う中で漁船に衝突し、スクルーのプロペラを損傷させたために港に引き揚げたとのこと。その末口の形状には、バラの花が咲いたと連想させるような「華」があり、球磨川の激流、八代海や東シナ海等の荒波に揉まれ、長い旅の中で浸食され姿を変えながらも意地で年輪の形として残るなど、年を重ねることの力強さを見せており、最後の生き様を「華」となって見せるその姿に感動を受けました。 B/I

熊本のソールフード
ホットドック【四ツ葉】



昭和 51 年から第二空港線で変わらず販売しているホットドック屋さん。シンプルながらも昔ながらの素朴な味にファンも多く、我が家も親子 3 代で通ってます。美味! H/N

忘年会幻のちゃんこ鍋



コロナ禍で中止となった忘年会、次こそは必ず食べてやる! ちゃんこ鍋!!

「学而創新」

会社の経営理念である学而創新ですが、【学】という漢字の形は「學」で、文(こう)・白(きゅう)・冫(べき)・子(こ)を組み合わせた形。成り立ちは、木が交わっている屋根付きの校舎で子が教え導かれている様子を表す会意文字だそうです。「様々な経験を通じて教える」そんな 1 年にしたいです。

身近な暮らしへの思い (～冬を楽しむ編～)

Familiar Life

コロナ禍のもちつき
ソーシャルディスタンス



昨年は年末から急激な寒波と、新型コロナウイルスの影響で例年になく、人との交流が少ない年末を過ごしましたが、今年はソーシャルディスタンスを保つため、8 家族から選抜メンバーを厳選し、若手 3 人(全員三十路オーバーですが(泣))で心を込めて掲かせていただきました!! (C) K/N

食は人と人
を結ぶ街道

熊本と宮崎を結ぶ日向往還の終点、延岡市にある【ぎょうざの店黄楊(つげ)】。もちもちの皮にとろっとした餡がやみつきになります。緊急事態宣言後はぜひ立ち寄ってみてください! M/N

電車通勤の楽しみ方



通勤で利用している駅に停車中の「ワンピース」のラッピング列車です。この列車は、4 月 23 日 JR 熊本駅東口「熊本駅ビル」に商業施設「アミュプラザくもと」が開業することを記念して運行されているそうです。アミュプラザは、「AMU VENTURE(アミュベンチャー)冒険しよう」をキーワードに、「ワンピース」を利用したキャンペーンを熊本全域で展開しているとのこと。 I/O



正月に宇城市不知火の永尾剣神社へ日の出を見に行きました。713 年に創建され、神様がエイに乗ってきたという伝説は知っていましたが、周囲の地形を「えい」の魚の形に照らし合わせた場合、神社の場所がちょうど「えい」の尾に位置する。この話を知り、ワクワクが止まりません。

天は人の上に人を造らず
人の下に人を造らずと云へり



年始の顔合わせで話題が上がった【学問のすすめ】全 17 編からなる学問のすすめは、学問の大切さを説いている本ですが、手にした年代や自分が置かれている状況によって感じ方は違うと思います。今の私には、「判断力をつけるために学問を学ぶ」と感じました。40 歳を目前に、今までは要の決断を周りに委ねることもありましたが、これからは自分で正しい決断ができるよう学ぶ年でしょう!! T/B

上写真の福沢諭吉は【消しゴムはんこ】で作成されたものです! 素晴らしい



丑年生まれの人、困難にもめげずに目標達成のためにモチベーションを上げる性格だそうです。先を急がず目の前の事を着実に進める年。

身近な土木文化への思い (暮らしを支えるインフラ)

Civil Engineering

「常在戦場」を心に



護岸復旧中の白川沿いを散歩しながら、目の前のゆるやかな流れと、時に濁流となり全てを押し流す姿の落差は、わかっていても想像するのは容易なことではないと感じました。平時において有事に備えること。災害復旧に関わる者として、いつでも戦場にいる心構えで事をなすという意味の「常在戦場」という心構えを持っていきたいと思います。余談ですが、常在戦場は他の意味もあって、手柄は人生のどこにでも落ちているし、当たり前の方法以外でも挽回できる。いま生きる場所こそが戦場という意味で使われており興味深いです。 K/S

守る監視体制の充実



2012 年に発生した笹子トンネル天井板崩落事故より 10 年が経過。その間に定期点検(近接目視点検)の義務化。平成 31 年の道路橋定期点検要領(案)の改訂では、「道路管理者の責務」、「知識と技能を有する者による点検・診断」などが明記。また、加速する人口減少や維持管理コストの増大、激甚化する災害に対応するための防災機能を如何に維持するかなどの課題は山積みしています。これらの課題に対し、全てに対策を講じることは現実的ではありません。まずは中短期的の維持管理体制や地域特性に合わせた応急対策・監視の強化も必要ではないでしょうか。 K/N

土砂災害を守る



押え盛土で効率化

現在、合志市野々島近くの私の散歩コースに大津植木線の新設工事が 600m 程行われています。令和元年に着工し、田んぼの軟弱な地盤を固めるため、押さえ盛土が採用され、約 1 年間放置し、昨年の春から本格的な工事が始まり、写真に示す道路側溝などが配置されています。2 年の歳月をかけて道路が完成に近づいているのを見てきて、道づくりの大変さや工夫が目に見えて、理解できました。コロナ禍での仕事の調整が大変ですが、頑張りましょう。 A/M

宮の前橋

美里町の名越谷地区には、文化十五年創建の宮ノ前橋(刎式石造桁橋)が今年で 202 歳を迎えます。特徴は、両岸から長尺石でせり出し、その上に桁石を乗せる構造です。現存する桁橋では県内最古で文化財としても価値があると思います。 H/N



文化十五年
今年で 202 歳
新

後期 世界的な規模で感染拡大が収まらない新型コロナウイルス。熊本でも病床不足が深刻となりつつあります。一方で、経済低迷も危惧されています。人類が克服した歴史を振り返り、必ずコロナを克服する! その気持ちで危機を乗り越えましょう。また、新阿蘇大橋が 3 月に開通することにより、さらなる熊本復興に繋がれることを願っています。